

令和7年度第3回合志市教育委員会会議録

- 1 会議期日 令和7年6月30日（月）
- 2 開議時刻 午後1時30分
- 3 会議場所 合志市役所 2階 庁議室
- 4 出席委員 委員 高本孝一
委員 林田新也
委員 鷹木 愛
委員 西本直美
- 5 欠席委員 なし
- 6 職務のために出席した者
教育長 中島栄治
教育部長 牧野淳一
学校教育課 渚上佳宏 教育審議員
関 嘉晋 指導主事
佐渡絢子 指導主事
末永 舞 課長
歌野雅文 課長補佐
生涯学習課 衛藤 剛 主幹
人権啓発教育課 田中政吉 課長

●中島栄治 教育長

ただいまから令和7年度第3回教育委員会議6月定例会を始めます。

よろしくお願いします。

梅雨明け、今一番心配してるのはこども達の熱中症です。そういう状態の中で、昼休み校庭開放やプール授業の中止など暑さ指数を確認しながら対応していかなければならないと思います。それと同時に私はこども達に暑さに慣れさせることも必要ではないかとも思います。暑いこともきちんと対策、管理された中で体験をさせる。こどもまんなか社会と言いますが、危ないと思われるものをこども達から全部取り上げて、自ら考えて行動しなければならないことを無くしてしまう事が、果たしてこども達の成長に良いのかどうか。校長会の中で、十分注意しながらも、多少の暑さの経験をさせることも考えてもらいたいと思っております。

それでは会議録署名者の指名です。本日は林田委員、鷹木委員、よろしくお願い申し上げます。

次に前回の会議録の承認です。前回の会議録を配付しておりましたが、異議ありませんか。

<全委員、了承>

ありがとうございます。

それでは日程1、私からの報告です。

6月1日 黒石原区総会。私からお話しをさせていただきました。私の生い立ちの話をする中で、地域の方々に育ててもらい、地域の繋がりで子ども達を育てていく、そんな環境が合志市でこれから先も続いて欲しいという願いを区民の皆さんにお伝えし、提案したところです。

6月2日 菊池地域人権・同和教育連絡協議会総会。今年度、私が会長となりますのでご挨拶をしました。

同日午後から、熊本北合志地区防犯協会総会、この会も副市長不在で私が臨時で会長をしております。この中で表彰等がございましたが、ほぼ70歳代以上の方へ表彰を行いました。逆に言うと、40歳代～60歳代までは地域貢献参加型の意識になっていないのかなと感じました。次世代の方々を育てていくという事が大切だと感じたところです。地域へ貢献する意識というのは、義務教育の時から育てていく、地域貢献をされている方々を子ども達へ紹介し意識付けしていく事も大切だと考えております。

6月3日 合志中・合志南小概要訪問。お世話になりました。

同日15時から青少年市民会議理事会。

6月5日 市議会開会。6日、9日に一般質問がありました。

6月9日 17時30分から合志解放子ども会学習会開講式。人権ふれあいセンターで行われましたが、参加者数が増加しました。良い傾向だと思います。

6月11日 質疑打ち合わせ。

同日13時30分から第1回の教育支援委員会。教育支援の子ども達のあり

方を検討していただきますが、一人ひとり個別に検討して、慎重な審議をお願いしました。

6月12日 市議会本会議。質疑及び予算決算常任委員会。

同日13時30分から校長会。

校長会についてご説明します。まず小中一貫教育について、原則は「中三の姿」を明らかにイメージして、小中一貫して共通実践にこだわって欲しいとお願いました。特に学習規律の維持、例えば、先生方が授業されているがこども達は話を聞いていないとか、クロストークが起きていると、中学校になったらどうにもなりませんので、指示をしている先生が話している時には黙って聞いているこども達となれているかどうか。また、高い学習能力よりも教科書にこだわり、基本的な読み・書きができることにこだわりを持って欲しいとお話ししました。

小中一貫教育の取り組みとして学校運営協議会、地域学校協働活動の推進を行っていただきたいとお話ししましたが、その際、地域から様々な要求があり、それを「わかりました」と受ける形ではなく、学校の現状や働き方改革を理解していただいて、学校では実施することができないことを地域でお願いできないか協議する場としていただきたいとお話ししました。

期首面談で、お伝えした校長先生とお伝え出来なかった校長先生がありましたので、校長会の場で改めてお伝えしました。それは、こども達や保護者、地域の声を肯定的に取り入れて欲しいという事です。一つの情報だけで捉えようとすると誤りがある場合もありますので、すべての学校、管理職の先生方については教師の意見だけでなく、こども達や保護者、地域の方の声を聴くことにこだわりを持って下さいとお話ししております。

次に、夏休み前の教育相談。4月の家庭訪問、夏休み前の教育相談、冬休み前の教育相談のこの3回は、こどもと親、先生が向き合う時間を設定してくださいとお願したところです。

この面談の時に、先生方が何か一生懸命資料を作り、こども達と面談する必要はありませんと。自分につける通知表とか、学校生活や家庭生活を振り返ってという作文など、こども達に資料を作らせる。そして保護者にはこども達に関わって暮らすようお願いする。次に、夏休みの計画表をこども達に作らせ、こども達と保護者と一緒に夏休みの過ごし方や大切にしたいことなどを確

認するするような教育相談にさせていただきたいとお伝えしました。

次に健康安全教育の徹底、地域人材との協力体制の確立ということで、補導員さんや交通指導をされてる方々にこども達を夏休み前に会わせておいて欲しいとお願いしました。こども達が地域の方を知っておいて、挨拶をするようにすれば、地域の方たちの見守る目も違ってくるのではないかと思います。

6月13日 文教経済常任委員会。

6月16日 合志楓の森小と南ヶ丘小の学校訪問、お世話になりました。

6月18日 管内教育長会議。菊池教育事務所長の挨拶で、6月は心の絆を深める月間ですが、6月病に注意という話をされました。6月病とは、5月に各学校の運動会や中体連が終わりますので、その喪失感からくる憂鬱な気持ちだそうです。

管理職選考の結果ですが、まず校長退職者の増加。令和3年度から平均して10名前後が年間に退職しています。管内全部の学校数は44ですので、4年で全員が入れ替わるという事です。それから校長採用者は現時点で1年目が9人、2年目が8人、つまり38%の校長先生が1年目か2年目。教頭先生は1年目が17人、2年目が11人。全体の半数が2年しか教頭を経験していないということです。

2つの視点として、教頭・校長として「即戦力になる人材」、「近い将来、教頭等として期待できる資質や専門性をもった人材」という視点が必要と話されましたが、私は経験したことない業務を即戦力で、という事には無理があると思います。人材育成として教務主任など管理職前の方に教頭と共通の仕事をしていただく。そして徐々に教頭の仕事も覚えてもらいながら人材育成していくしかないと思います。

次に危機管理について。危機管理の「さしすせそ」、最悪を想定して、慎重に、速やかに、誠意を持って、組織で対応する。言葉は簡単ですが、実際にそれができるか。これは経験によって差が出ます。本当に最悪な状況を知っている人は最悪の想定ができますが、知らない人はその最悪の想定ができない。

そういったお話がありましたので、これは機会をみて校長先生方にお話をしようと思います。

同日18時から学校経営研究会。本年度管理職試験を受験しようとしている

先生方に集まっていただき、私からの講話をとの事でした。私からはとにかく先生方に元気になってもらう事、モチベーションが下がっている方も見受けられましたので、それをプラスに変える力、自分との向き合い方を学んで欲しいとお話ししました。

6月19日 学校訪問。西南中、西南小でした。

同日14時から、市初任者・転入教職員の人権教育研修会を行いました。

6月20日 愛育学園評議員選任委員会。

同日14時から国民保護会議及び市防災会議。

6月21日 献穀事業御田植祭。上庄地区で開催されました。

6月23日 学校訪問。合志小、西東小でした。

6月24日 学校訪問。第一小、中央小。中央小はやはり校舎が建て込んでいて、こども達を見守るにしても死角が多いということで、私も何らかの措置をしなければいけないと思っているところです。

同日15時から社会を明るくする運動。19時から青少年健全育成市民会議総会。今年の記念講演会は食育の視点から合志市在住の富永さんがお話していただく事となりました。

6月25日 総括質疑の打ち合わせ。13時から市特別支援教育連携協議会担任等研修会。私からは特別支援学級に通うこども達が笑顔で通える学校、それが本当に良い学校だと思いますし、それには支援をする先生方の笑顔、心の余裕が必要ですので、自分自身を労わってくださいとお話ししました。

6月26日 予算決算常任委員会総括質疑。

6月27日 地域学校協働活動に関する研修会。

以上で私からの報告は終わりますが、ご質問等ありませんか。

それでは、日程2報告事項等に移りたいと思います。

合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱の一部改正について説明をお願いします。

●衛藤剛 生涯学習課主幹

合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱については、各種団体に対する補助金の項目について定めているものでございます。

今回の改正内容は、竹迫初市振興会補助金について令和6年度までは商業振興を目的としたものとして、商工振興課から8万円の助成をしておりました。

助成目的について庁内で協議した結果、1871年から続く民俗文化財としての価値に着目し、令和7年度からは生涯学習課から助成することとなったため、要綱を一部改正したものです。以上で説明を終わります。

●中島栄治 教育長

何かご意見ありませんか。今回の改正は、竹迫初市に文化的な価値を認めたという事ですから、担当課からは、実施されてる方々にその意識を持ってもらうよう取り組んでください。

続いて令和7年7月の行事予定についてお願いします。

●淵上佳宏 教育審議員

まず、合志市関係です。

7月3日 学校総合訪問。合志南小です。

7月10日 市校長会議。

7月18日 前期前半の終了。翌日からこども達は夏季休業日となります。

7月22日 初任者研修地域理解研修。

後ほどご承認いただきたいと思いますのですが、7月31日に7月の教育委員会会議を予定したいと思います。

次に県関係について。夏休みに入り先生方の研修が多くなりますので行事が多いですが、割愛してご説明します。

7月12日から20日の間が県中体連ということになります。開催場所等をお聞きになりたい委員さんは後ほどお答えしますので、私までお願いします。

教育事務所関係で7日に管内教育長会議。9日に管内校長会議が開催されます。

関係団体としましては、7月24日に熊本県学校給食研究協議大会が行われ

ます。以上です。

●中島栄治 教育長

何かご質問等はないですか。

では、次回の教育委員会議について31日の13時30分からでよろしいでしょうか。

それでは次に生徒指導についてお願いします。

●佐渡絢子 指導主事

5月末現在の状況をご報告します。30日以上欠席をしている長期欠席者が47名、そのうち不登校者数が29名ということで、昨年度から多少の増減はありますが、大きな変動はありません。

不登校傾向児童生徒数は133名ということで、昨年よりもかなり数が増えています。

長期欠席者は内訳を見ると、やはり小学校高学年や中学校の2、3年生が多くなっています。

不登校傾向の児童生徒も中学生が多くなっており、前月が4月で半月しか登校日がありませんでしたので、今月から不登校児童生徒数が出てくることになります。

民間施設等利用児童生徒は5月31日現在で26名となっております。6月に入り、1施設を認めましたので現在27名が利用しております。

前回の教育委員会議で各施設からの報告様式が話題になりました。すべての学校に報告様式等の確認を行ったところ、その中で報告に不備があった施設1ヶ所について、私から連絡をして、適正に出席扱いできるよう報告様式を改めていただいて提出をお願いしております。

前回、フリースクールへ通う生徒の就学援助はどうなっているかということでしたが、在籍校はありますので、その在籍校で他の生徒に適用する分に関しては就学援助として出すことができると。ただ、フリースクールに関してのものは実費負担ということになっています。

教育支援センター利用児童生徒数は、5月末時点で17名、新たに4名の申

請がありましたので、現在21名の利用となっています。

学校内で別室を使っている子ども達ですが、確認を行ったところ小学校で2校、中学校で4校の別室があるということで、使い方に関しましては、教育長から校長会・教頭会等でもお話いただきまして、ルールを守って適正に使用しているとの事です。

次にいじめについてですが、いじめは5月末に発生した案件を経過観察中です。新規で報告はありませんが、5月末の件に関しましても1週間前後で、被害者、加害者等の保護者も全部呼び、話ができて、現在は解決ということで報告を受けています。以上です。

●中島栄治 教育長

何かご質問等ありませんか。

一人ひとりのこどもに合わせた多様な形での受け入れを行わなければいけません、数が増えましたね。

学校内で別室を使って対応している学校については、誰かその教室で対応する先生はいるのか、こどもが一人で利用しているような状況にはないのかは確認しておく必要があると思います。こどもが利用中に怪我をした、トラブルがあったなどこども達の安全安心が守れない状況は作ってはいけないので。

どのような体制で行われているか、教師の側からも常に誰かが教室にいる状況を作ることは働き方改革に反するというご意見も聞いておりますし。

様々な事を考慮しながら別室利用については丁寧に確認していきたいと思います。

学校の朝の開錠時間についても地域の方からは早く学校で待っているこども達もいるので7時くらいに開けてもらえないかとのご相談もありましたが、管理上も、こども達の安全を守るためにも7時30分しか開錠しないと答えています。

また、クーリングシェルターとして学校で勉強をさせてくれないかというお話が私のところに届いています。

市民センターや図書館、数ヶ所に自習できるスペースを確保するお知らせは市の方からされていますが、学校は管理上の問題もあるので一部の学校でサマ

ースクールという形で解放しています。５日間程度です。宿題チェックなどを行っています。

それでは次の令和７年第２回市議会定例会の報告をお願いします。

●牧野淳一 教育部長

令和７年第２回市議会定例会のご報告です。

今回の議会については、６月２５日から２５日間開催しております。

教育委員会関係では５本の議題を提出しており、一般質問については７人中３人の方が教育委員会に関係する質問をされております。

まず教育委員の任命です。坂田委員の任期満了による西本委員の任命について、同意を求める議案を提出しております。

令和７年合志市一般会計補正予算第２号の決定については後ほど各課より説明をさせたいと思います。

次に合志楓の森小中学校機械設備工事請負変更契約の締結について議題提出しております。こちらについては合志楓の森小中学校の増築工事に伴い、当初屋内消火栓での対応としていたものを、消防署と協議する中で児童生徒のより安全性を求めた屋外消火栓に変更することに伴う契約変更について議題に提出したものでございます。

次に人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて議題を提出しております。人権擁護委員について恵濃委員の任期満了に伴いまして、再任の推薦と、川畑委員の任期満了に伴い新たに矢野氏の推薦について意見を求めるための議案となります。

提出しました議案につきましては、今日の閉会をもって全て承認をされております。

次に一般質問については、青山議員から「自転車の安全運転について」の質問でした。黒石地区について、菊池電鉄駅があり高校生が自転車で通学しておりますが、小中学生の登下校時間と重複しております。高校生の自転車乗車マナーが悪いため小中学生が危険な目に遭っている、また道路交通法の改正により、全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となっておりますが、ヘルメットの着用率は非常に悪い。自転車の交通安全対策の本市の取り組みにつ

いてというご質問でした。教育委員会からは小中学生の自転車事故の推移についてと小中学生の自転車交通安全教育について回答しております。

次に上田議員になります。地域おこし協力隊とクリエイター塾の活動について質問がっております。昨年11月から3人の地域おこし協力隊を雇用しております。その活動について広く市民に伝えてほしいという観点からの質問です。

答弁としては、隊員の位置づけ、活動内容、またクリエイター塾が本市になくはない理由、市民の認識・周知について答弁しております。

村上議員からは、公共施設の利活用に関して、社会教育施設の予約システムについて及び老人会イベントの施設利用料について2点の質問がっております。

現行の予約システムが令和8年2月までの期間ということになっておりますので、令和8年3月から新施設利用システムの導入を計画しております。

その新システムについて市民の声と導入についての意義、検討状況とスケジュールと運営内容導入後の展望について答弁をしております。

今回のシステムでは小中学校を含む全ての社会教育施設をオンラインによる予約、決済ができる計画としております。市民の利便性向上だけでなく職員の窓口対応時間の短縮、施設管理における業務の効率化を図り行政コスト削減等に繋がりたいという答弁をしております。

次に老人会のイベント施設利用料について、会員数の減少により施設利用料の捻出が困難であるため減免措置等ができないかとのお尋ねでした。

高齢者の方の居場所づくりという観点から、老人クラブ連合会、またその属する支部に限って合志市教育委員会の後援等に関する事務取り扱い要綱に基づく協賛という形であれば、施設の利用料は減免になるので、ご相談に来てくださいと答弁しております。

一般質問については以上です。

●末永 舞 学校教育課長

まず、追加議案で財産の取得を上程しましたのでご報告します。来年度一斉更新を予定している児童生徒タブレット端末について、本年度購入契約を行い

ます。その金額が2,000万円以上の財産の取得となりますので、議案として上程しました。購入台数は約9,000台となります。

次に議案第41号補正予算の第2号における学校教育関係について説明いたします。

款10教育費、項6保健体育費、目3学校給食費の公有財産購入費として9,600万円を計上しております。これは、西合志地域に建設を予定しております新学校給食センター整備に伴う用地購入費用となります。面積は8,000平方メートルです。今後の計画としましては、今年度実施設計、令和8年度から9年度で建設、令和10年度からの操業開始という計画になっております。

続きまして同目の節18負担金補助及び交付金に6,404万2,000円増額しております。現在、市内5つの小・中学校に米飯の炊飯委託を行っておりますけれども、米の価格高騰により委託料が増額となっております。当初予算で不足する原材料費の差額補助114万2,000円となります。

もう一点が学校給食費の負担軽減事業補助金6,290万円です。これは令和4年度以降物価高騰に伴う食材費への影響で子育て世帯において負担になっている状況を踏まえ、保護者が負担している学校給食費物価高騰分を補うための補助金の交付となります。1人当たりの1食単価としましては、小学生が元々260円に物価高騰分の42円をプラスしまして1食当たり302円、中学生300円にプラス48円として348円として算出しております。

以上で説明を終わります。

●衛藤 剛 生涯学習課主幹

続きまして生涯学習課分を説明いたします。

総合センター費です。こちらの工事請負費で113万9,000円を計上しております。これは総合センターヴィーブルのメインアリーナステージバトンワイヤーの故障が3月の保守点検で判明し、早急に修繕を行うため、工事請負費を計上させていただいたものです。

次に体育施設費です。設計委託として、2,055万9,000円を計上しております。

こちらは昨年度から菊池恵楓園敷地内にスポーツ施設を整備するところで計画を進めておりますが、整備予定敷地内の雨水排水の改善を目的として、雨水暗渠および排水路の設計を委託するものです。

最後に合志中学校グラウンド照明整備工事として1億1,421万3,000円を計上しております。これは国が事業主体の中九州横断道路建設工事に伴って、総合運動公園内のスポーツ施設が廃止となりましたので、特に利用の多い夜間利用者のスポーツの機会を確保する目的として、中学校グラウンドにナイター照明設備を整備するものです。説明は以上です。

●中島栄治 教育長

以上につきまして、何かご質問等ありませんか。

ご質問も無いようですので、以上で終わりたいと思います。

これをもちまして令和7年度第3回教育委員会議6月定例会を終わります。

お疲れ様でした。

～ 午後2時48分 終了 ～

この会議録は書記が記載したものであるが、会議内容に相違ないことをここに署名する。

令和7年7月31日

署名者

署名者

調整者